



## 『2学期がスタートして』

校長 千石 正 巳

10日間の夏休みが終わり、2週間あまりが経過しました。話を聞くと、短い休みではありましたが、子ども達一人ひとりには記憶に残る良い思い出ができたようです。また、この2週間ですっかり生活リズムも整い、残暑に負けず学習に取り組み、元気に学校生活を過ごしているところです。グラウンドや体育館では、9月12日（土）に予定している運動会に向け、体育の時間に短距離を走っての紅白分けや最終的に全校で踊る「よさこい」などの取組も始まりました。児童会保体委員会が中心となってスローガンも考えました。運動会開催時のコロナ対策も含めて、着々と準備が進んでいます。

さて、先週27日～28日には多度志小学校との合同修学旅行を行いました。小樽市内で新型コロナウイルスのクラスターが発生したこともあり、先週には再度業者等との旅行中における留意点等を含め最終確認を行い、また児童へは手指消毒やうがい、ソーシャルディスタンス（特に他団体や他人と）の徹底を確認し、当初の予定通りで実施いたしました。保護者の皆様もご心配な点が多々あったことだと思いますが、ご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございました。

この合同修学旅行は2年前の平成30年度から、同じ一巳中学校に進学する2校の児童の交流と少人数による交通費の削減を考えて始め、5・6年の2学年児童で隔年で計画・実施しているものです。昨年度は宿泊学習を合同で実施しました。



計画の際には、多度志小学校の5・6年生5名が本校を訪れ、体験・宿泊・自主研修毎のグループをつくったり自主研修の計画を立てたりする中で、本校5・6年生14名と交流を深めていきました。そして、2日間の修学旅行を一緒に行動することで、楽しい思い出に残るものとするのができたと感じています。前年度の宿泊学習や今年度の修学旅行のみの交流で終わることなく、次に出会った場所で互いに笑顔で挨拶や言葉を交わし合えることを期待しています。

「一年生になったら」の歌詞に、「ともだち100人できるかな〜♪」とあります。本校児童は38名ですので、中学校に進学した際には可能でしょうか？何はともあれ、人間関係が固定化する傾向を理解しつつ、『今まで知らなかった人と出会うことによる学び』、自分と似ている、または全く違う言動に出会い、様々な考えをもった人がいることを知り、様々な価値観を学ぶきっかけになってくれればと考えています。バラエティー番組で最近の若者はLINEで既読してもすぐに返信しない傾向があるとか・・・。いつの時代でも適切なコミュニケーションをとる能力は重要です。誤解を生まない言葉遣いができる、「ヤバイ」以外の言葉で表現できるような子ども達を育てていきたいと考える今日この頃です。

## 多度志小・北新小合同修学旅行

8月27日～28日の1泊2日日程で、多度志小との合同修学旅行を行いました。「Withコロナ」の中での実施となりましたが、高学年児童14人にとって貴重な体験をすることができました。ご理解・ご協力いただいた保護者の皆様に感謝申し上げます。



中山峠



京極名水公園



名水公園で昼食



尻別川（ニセコ）



ラフティング体験



ビューホテルで夕食



部屋ごとに交流



二日目の朝食



楽しみだったバイキング



グループ毎に自主研修



小樽水族館



このイルカが登場！この動物は何でしょう。



16日(水) 避難訓練  
17日(木) 放課後教室、研修日  
18日(金) 児童会役員選挙  
21日(月) 敬老の日  
22日(火) 秋分の日  
23日(水) マナビイ文庫入替  
25日(金) 遠足  
28日(月) 職員会議  
30日(水) 遠足予備日